

(農)サンファーム法養寺だより

農事組合法人サンファーム法養寺
平成29年5月1日



中山凌輔君(21)がサンファーム法養寺に就職しました

4月から彦根市野田山町在住の中山凌輔君がサンファーム法養寺に就職してくれました。中山君は、長浜農業高校を卒業後、滋賀県立農業大学校で2年間農業を学んだ後、農業大学校で実習指導員を1年間務め、このほど当法人に就職することとなりました。

本人は農業自営に対して強い関心があり、もと空き農地を借用してハウス園芸を始めようと考えていたのですが、それでは自立できないと説得して当法人を決意しました。

中山君は非農家出身で有りながら農業に対する欲は強く、明るくまじめな性格で、サンファーム法養寺では大変期待しています。法養寺の皆さんも中に出会ったら気軽に声をかけてやって下さい。

なお、今まで頑張ってくれた山本志穂ちゃんは、本人の希望もあって農業大学校の実習指導員に採用され、農大に通勤することとなりました。



代かきをするためのトラクターに給油をする中山君

法養寺だよりの発行に当たって

2年前から「サンファーム法養寺だより」を発行しようと取り組んで来ましたが、昨年冬季になってネタ不足で発行できなくなり、今年になって、新たにお知らせしなければならぬ情報も出てきたので、今年発行ができました。新法養寺の発行ができたのは、皆さんにサンファーム法養寺の内容をご理解いただけるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。また、ご意見やお問い合わせがありましたら、遠慮なくお申し出ください。

もうすぐ田植え、麦刈り、大豆の播種、トマトの収穫など大変忙しい時期となります。

「マンゴー」を定植しました

今まで2棟のハウスでイチジクを7年間栽培してきましたが、樹が老化して収量が低下してきたのが課題となっていました。一昨年、近江八幡市で見学した「マンゴー」栽培に注目していました。

昨春秋、国の補助事業に乗る機会を得たので挑戦しましたところ、幸い採択されることとなりましたので、早速、事業実施することになりました。2月中に、イチジクを切断・抜根して撤去しました。3月末までに2棟のビニールハウスの二重被覆と炭ポイラーの設置、防風ネットの施工が完了しました。4月になって沖繩から買付けたマンゴーの成木70本を植栽しました。さらに近畿大学農学部湯浅農場で育成された「あま太閤」という新品種も譲り受けることができました。

今年収穫することはできませんが、来年の夏には僅かではありますが、収穫できるのでは無いかと考えています。法養寺で熱帯植物の栽培ができるのは、おもしろいですね。



4月に定植したマンゴー

サンファーム法養寺の監査に野田藤雄氏



野田藤雄氏
滋賀県議会議長・夢

今年3月の定期総会で、外部の専門家に監査を依頼することを承認いただきましたので、滋賀県農業会議に人選をお願いしていました。

このほど、野田藤雄氏を推薦いただき、本人にお出会いして依頼しましたところ、快く引き受けただけましたのでご報告いたします。

野田氏は現県議会議長(平成29年4月26日で交代されました)という要職に就任されていますが、旧木之本町の「夢ファーム千田」の発足当初からの代表理事として活躍されてきました。今までも集落営農の講演に全国に出向かれてきましたし、滋賀県農協中央会の集落営農アドバイザーとして県下の集落営農組織の指導にも尽力されてきました。

また県職員時代は一貫して税務職場を歩まれてきた、税務の専門家です。監査としてこれ以上の人はないという人で、当法人に何かとすばらしいご助言がいただけるものと大変期待しています。

ご本人にお出会いたところ、大変心優しく、熱心で、前向きに物事をとらえる人だと思われました。長年、農事組合法人の運営に携わってこれ、農業の実務や組織運営にも明るく、とくに夢ファーム千田では30ヘクタール全ての水田で直播栽培をされているという先進的な取り組みをされています。